

キャナルシティ博多

伊藤若冲作品をデジタル再構築したアート作品を日本初公開

teamLab作品『世界は、統合されつつ、分割もされ、繰り返しつつ、いつも違う

(英語名:United, Fragmented, Repeated and Impermanent World)』日本初公開

福岡地所株式会社(本社:福岡市博多区 代表取締役 石井 勲)が運営する大型複合商業施設「キャナルシティ博多」は、ウルトラテクノロジスト集団チームラボ(本社:東京都文京区 代表猪子寿之)が手掛けたインタラクティブなデジタルアート作品を日本で初公開いたします。

『世界は、統合されつつ、分割もされ、繰り返しつつ、いつも違う (英語名:United, Fragmented, Repeated and Impermanent World)』

本作品は、伊藤若冲による「鳥獣花木図屏風」や「樹花鳥獣図屏風」をモチーフにしたデジタルアート作品で、今回が日本初披露となります。

伊藤若冲(1716-1800)は、江戸中期に活躍した日本画家です。鳥獣や花、植物、人等さまざまな対象を、緻密でリアルな技法や、笑いあふれるユニークなタッチで描き、驚くほど幅広い画風の作品を残しており、2016年で生誕300年を迎えますが、今もなお国内外で高い評価を得ており、現代のアーティストやクリエイターに大きな影響を与え続けています。

モチーフとなった2作品は、画面全体を数万もの升の形に区切り、升目ごとに彩色する表現技法を使った「升目画」で、デジタル表現のドット絵にどこか通じるものがあります。

若冲の「升目画」をデジタルで再構築した本作品は、鑑賞者や歩行者が作品の一部となるインタラクティブなもので、その動きに反応し、作品が変化していく様子を楽しむことができます。



展示概要

- 【作品名】 『世界は、統合されつつ、分割もされ、繰り返しつつ、いつも違う
(英語名:United, Fragmented, Repeated and Impermanent World)』
[チームラボ,2013, インタラクティブデジタルワーク, ∞ (9:16×8), 音楽:高橋英明]
- 【仕様】 60インチディスプレイ8台使用 高さ約140cm×幅約640cm(全体)
- 【公開日時】 11月16日(土)~ 9:30~21:30
- 【公開場所】 キャナルシティ博多サウスビル1F(サウスビルエントランス前)

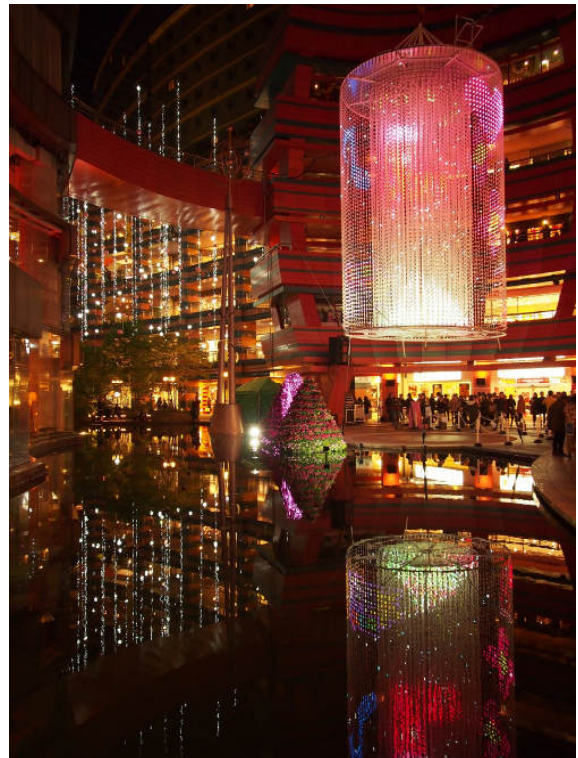
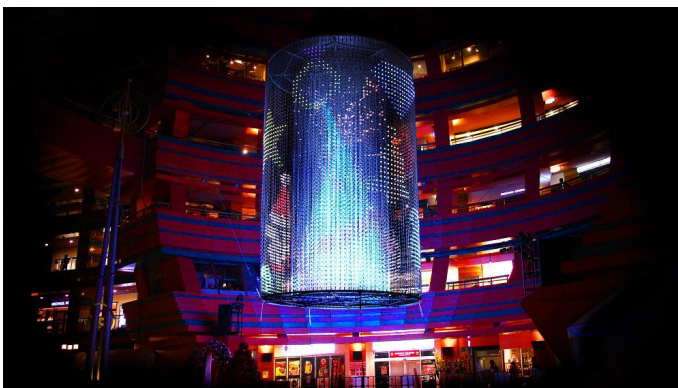
チームラボ(teamLab Inc.)

プログラマー・エンジニア(プログラマー、UIエンジニア、DBエンジニア、ネットワークエンジニア、ロボットエンジニア、コンピュータビジョンエンジニア、ソフトウェアアーキテクト)、数学者、建築家、Webデザイナー、グラフィックデザイナー、CGアニメーター、絵師、編集者など、情報社会のさまざまなものづくりのスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。

<http://www.team-lab.net/>

なお、キャナルシティ博多では、チームラボによるクリスマスインスタレーション「願いのクリスタルツリー」もクリスマスキャンペーン期間中公開しております。ぜひあわせてご鑑賞ください。

『願いのクリスタルツリー』



キャナルシティ博多の2013年クリスマスのテーマは「愛でつながるクリスマス」。

インスタレーション「願いのクリスタルツリー」は、お客様がスマートフォンなどの端末を使って、立体のクリスマスツリーに自由に装飾することができたり、立体的に動かすことができたりする、インタラクティブなクリスマスツリーです。

展示概要

- 【作品名】 願いのクリスタルツリー
- 【公開日時】 11月16日(土)～12月25日(月)10:00～24:00
※イベント等により変更となる場合があります。
- 【公開場所】 キャナルシティ博多サンプラザステージ
- 【仕様】 直径6m 高さ約9m フルカラーLEDチップ約5万個